



- | | | |
|--------------------------|----------------------|-----------------------|
| ① 岩下俊作 古船場町1番天神島駐車場 | ⑩ 種田山頭火 都町2丁目 | ⑲ 丸橋静子 城内2番 八坂神社 |
| ② 老川潮 妙見町17番 妙見神社 | ⑪ 夏目漱石 上富野4丁目 松柏園ホテル | ⑳ 宮本武蔵 赤坂4丁目 手向山公園 |
| ③ 仰木実 妙見町17番 妙見神社 | ⑫ 西山宗因 寿山町6番 広寿山福聚寺 | ㉑ 村上元三 赤坂4丁目 手向山公園 |
| ④ 仰木実 城内2番 八坂神社 | ⑬ 柏迺舎正軒 寿山町6番 広寿山福聚寺 | ㉒ 村田春海 妙見町17番 妙見神社 |
| ⑤ 加賀山隼人 香春口1丁目 小倉カトリック教会 | ⑭ 野村喜舟 篠崎1丁目 篠崎八幡神社 | ㉓ 明治天皇 須賀町12番 須賀神社 |
| ⑥ 江川直種 篠崎1丁目 篠崎八幡神社 | ⑮ 橋本多佳子 中井浜 櫛山公園 | ㉔ 森鷗外 上富野4丁目 松柏園ホテル |
| ⑦ 河野静雲 古船場町2番 欣浄寺 | ⑯ 橋本豊次郎 清水4丁目 観音院清水寺 | ㉕ 森鷗外 城内1番 鷗外橋近く |
| ⑧ 河野静雲 上到津4丁目 到津の森公園 | ⑰ 磐梨宮司 妙見町17番 妙見神社 | ㉖ 森鷗外 京町2丁目 小倉駅前 |
| ⑨ 最中庵我山 清水4丁目 観音院清水寺 | ⑱ 廣吉 樸堂 須賀町12番 須賀神社 | ㉗ 横山白虹 妙見町17番 妙見神社 |
| ⑩ 照憲皇太后 須賀町12番 須賀神社 | ㉒ 文藻庵春芳 堅町1丁目 安国寺 | ㉘ 横山白虹 城内2番 小倉城内 |
| ⑪ 杉田久女 妙見町1番 円通寺 | ㉓ 松尾芭蕉 上富野4丁目 延命寺 | ㉙ 劉寒吉 城内4番 中央図書館前庭 |
| ⑫ 杉田久女 堺町1丁目 堺町公園 | ㉔ 松尾芭蕉 堅町1丁目 安国寺 | ㉚ 万葉集 長浜町2番 貴布祢神社 |
| ⑬ 杉田久女 中井浜 櫛山公園 | ㉕ 松尾芭蕉 清水4丁目 観音院清水寺 | ㉛ 万葉集 城内4番 新勝山公園 万葉の庭 |
| ⑭ 種田山頭火 上到津4丁目 到津の森公園 | ㉖ 松間輔紀 堅町1丁目 心光寺 | |



女性俳句の草分けとして知られる杉田久女と、久女から指導を受け、戦後の俳壇で活躍した橋本多佳子の記念コーナー。小倉城庭園内にあり、中庭には橋本多佳子が住み、小倉の文化サロンとしてもにぎわった「櫛山荘」をしのぶ灯籠、榻、蹲も設置されている。

杉田久女・橋本多佳子記念室
杉田久女(1890～1946) 橋本多佳子(1899～1963)



豊前出身の発明青年・矢頭良一の死を悼んで遺族におくった自筆の書(複製)が展示されている。

森鷗外旧居
明治の文豪、森鷗外は、明治32年6月から同35年3月まで、第十二師団軍医部長として小倉で勤務した。この鍛冶町の旧居は、鷗外が最初の一年半を過ごした家で、小説「鷄」はこの家が舞台である。また、この家でアンデルセンの「即興詩人」の翻訳を完成し、「我をして九州の富人たらしめば」などを寄稿した。旧居には、鷗外が、矢頭良一の死を悼んで遺族におくった自筆の書(複製)が展示されている。



Memo



松本清張記念館

松本清張 (1909～1992)

松本清張は全救郡板櫃村（現在の北九州市小倉北区）で生まれ、上京するまでの40余年を北九州で過ごす。昭和25年、朝日新聞西部本社広告部に勤務する傍ら書いた小説「西郷札」が週刊朝日の懸賞で3等に入選。同28年「或る『小倉日記』伝」で芥川賞を受賞。上京後、作家活動に専念。「点と線」「眼の

壁」などで社会派推理小説という新分野を開く。

松本清張記念館では、多岐にわたる創作活動の全貌を紹介するとともに、東京・杉並の「仕事の城」を再現。ガラス越しに見える書齋と3万冊にも及ぶ蔵書は清張の創作の源を感じさせる。